

令和2年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会

【建設環境委員会 委員長報告】

議案第20号及び議案第21号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第20号 令和元年度筑紫野市水道事業会計補正予算(第3号)』の件について、ご報告いたします。

本予算の、主な内容は事業費の確定によるものでございます。

委員会では、予定されていた旧上下水道庁舎の解体が今年度内に見込めないとのことだがなぜかとの質疑があり、執行部からは、旧上下水道庁舎跡地の活用について検討している段階であるためとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第21号 令和元年度筑紫野市下水道事業会計補正予算(第3号)』の件について、ご報告いたします。

本予算の、主な内容は事業費の確定によるものでございます。

委員会では、下水道事業における工事請負費減少の理由はなにかとの質疑があり、執行部からは他事業との兼ね合いにより施工範囲が狭まるなどで予定していた工事が出来なかったためであるとの答弁がありました。

また、収入において宝満川流域維持管理負担金の黒字返還分が発生するのはなぜかとの質疑があり、執行部からは小郡・筑紫野ニュータウン建設当初においては居住者が少なかったため、設定した負担金の単価では収支がととのわず、福岡県と構成市で赤字分を負担していたが、現在は居住者の増加などにより黒字に転換したため、過去の赤字負担の充当分として返還を受けているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和2年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会

【建設環境委員会 委員長報告】

『議案第28号 令和2年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計予算』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本予算は、主に農業集落排水事業処理区の維持管理と借入金の償還に関するものでございます。

委員会では、農業集落排水事業と下水道事業の統合に向けた進捗状況はどうかとの質疑があり、令和2年度予算に新しく盛り込まれた最適整備構想策定業務に取り組みながら、下水道事業への編入を目指したいとの答弁がありました。

また、借入金の償還について令和15年度終了予定となっているが下水道事業と統合すると繰り上げ償還が必要となるのかとの質疑があり、執行部からはすでに統合の実績がある自治体において繰り上げ償還はしていないとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和2年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会

【建設環境委員会 委員長報告】

議案第32号及び議案第33号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第32号 令和2年度筑紫野市水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の水道供給に関するものでございます。

委員会では、新規の水道管布設工事についてはどのような計画に基づいて行われているのかとの質疑があり、執行部からは給水区域でありながら水道管が布設されていない地域からの要望に基づいて行っているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第33号 令和2年度筑紫野市下水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の下水道事業の運営に関するものでございます。

委員会では、流域下水道維持管理負担金の単価はどのように算定されているのかとの質疑があり、執行部からは、福岡県と構成市町とが協議しながら決めており、来年度予算においては、御笠川那珂川及び宝満川上流流域処理維持管理負担金が消費税相当分として2円増額となっているが、宝満川流

域処理維持管理負担金については黒字となる見込みであるため、今回は据え置きすることとしたとの答弁がありました。

また、ストックマネジメント改築工事におけるマンホールの蓋替えについて定期的に行っているのかとの質疑があり、執行部からは交通量や硫化水素の発生等、現場の状況を見ながら交換を行っているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。